

支援プログラム

児童デイサービスやまもでは、児童発達支援と放課後等デイサービスを実施しており、5領域に合わせた療育を、個別支援に基づき行っています。

「5領域」とは、発達の側面から、心身の健康や生活に関する領域（「健康・生活」）、運動や感覚に関する領域（「運動・感覚」）、認知と行動に関する領域（「認知・行動」）、言語・コミュニケーションの獲得に関する領域（「言語・コミュニケーション」）、人との関わりに関する領域（「人間関係・社会性」）の5つの領域を言い、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすることを目標にしています。

ここでは、具体的にやまもで行っているプログラムについて、領域ごとにご紹介いたします。

【健康・生活】

ねらい：・健康状態の維持

- ・生活のリズムや生活習慣の形成
- ・基本的生活スキルの獲得

内容：

- ・手洗いの習慣づけ：外から戻った時や飲食の前。トイレ後等場面ごとに声かけ・見守りを行い、必要に応じて添い手をして実施しています。
- ・（児童発達支援）送迎の際や連絡帳を介して、ご家族とご本人の体調状態の共有を行っています。
- ・（放課後等デイサービス）定期的におやつ作りなどを実施しています。自身で調理して食べることで、いろいろな体験や食への興味・楽しさを感じてもらっています。



【運動・感覚】

ねらい：・姿勢と運動・動作の向上

- ・姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
- ・保有する感覚の統合的な活用

内容：

- ・（放課後等デイサービス）1日利用の際は、朝の会にて皆で「ラジオ体操」を実施し、体の柔軟性を高めています。
- ・（児童発達支援）はじめの会にて軽体操や、屋内にてサーキットを実施しています。夏季にはミニプールにて、水遊びを行います。
- ・（児童発達支援）粘土や寒天ゼリー。秋季には落ち葉を集めて、その中に入って感触を全身で感じることもしています。
- ・公園へ行きかけっこをしたり遊具を使ったりして、全身運動をしています。



【認知・行動】

ねらい：・認知の発達と行動の習得

- ・空間・時間、数等の概念形成の習得
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

内容：

- ・(放課後等デイサービス)「課題」の時間を設けており、児童別にボールペンの組み立てやパズル。塗り絵やマッチング等作業を行うことを目的としたり、一定時間椅子に座ることを目的とするなど、「少し頑張る」ことを行っています。
- ・時間とその時に何をするかを表にして提示したり、タイマーを使うなど時間を意識するよう働きかけています。
- ・(児童発達支援)粘土や寒天ゼリー。秋季には落ち葉を集めて、その中に入って感触を全身で感じることもしています。



【言語・コミュニケーション】

ねらい：・言語の形成と活用

- ・言語の受容及び表出
- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上等

内容：

- ・(放課後等デイサービス)かえりの会に司会をしてもらったり、本日行ったことを1つ、全員が発表する機会をつくっています。
- ・写真や表を使って、欲しい物(遊びたい物)を伝える。感情をあらわした表から、自らの気持ちを伝える練習をしています。
- ・児童間でのやり取りに、必要に応じて職員が介入して相手の気持ちを理解したり、考えを伝える手助けを行っています。



【人間関係・社会性】

ねらい：・他者とのかかわり

- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間づくりと集団への参加

内容：

- ・(児童発達支援)はじめの会を通して、一定時間席に着くことや他者の話を聞くなどの意識した療育を行っています。
- ・プログラムや自由時間にレクリエーション(玉入れ、トランプ等)を通して、他児と共に行動することや、目的を達成する体験を感じてもらっています。
- ・遊具の貸し借りを、職員が介入しながらどのように相手に伝えればよいのかなど伝え、また模倣してもらうなど、他者とのかかわり方を療育しています。
- ・(放課後等デイサービス)定期的におやつ作りを行い、グループに分かれて役割分担を決めて、協力しています。

